

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和 8年 1月 30日

協議会名:丹波篠山市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株)ウイング神姫	草山温泉線	令和6年3月に策定した丹波篠山市地域公共交通計画において、当該路線を事業対象バス路線として位置付けた。関係者と意見交換を行いながらニーズに応じた公共交通の移動確保維持に向けて検討している。	A 主に通学利用に加えて、生活利用にも寄与することができた。	A ・利用者数 目標33,000人以上に対して実績38,914人で目標達成 ・公的負担額 目標13,268千円以内に対し、12,305千円で目標達成	市内の公共交通利用者は依然として少ない。あらためて公共交通の利便性を周知し、試乗会やモビリティマネジメントを通して自家用車から公共交通への転換を図る。
(株)ウイング神姫	市原線①	令和6年3月に策定した丹波篠山市地域公共交通計画において、当該路線を事業対象バス路線として位置付けた。関係者と意見交換を行いながらニーズに応じた公共交通の移動確保維持に向けて検討している。	A 主に通勤や通学利用に加えて、生活利用にも寄与することができた。	B ・利用者数 目標17,900人以上に対して実績15,606人となり、達成率87.2%と目標未達だったが、移動確保維持に努めた。通学路線として利用されているため引き続き維持に努める。(※目標値は市原線の合計数) ・公的負担額 目標2,685千円以内に対して実績1,315千円と目標達成	市内の公共交通利用者は依然として少ない。あらためて公共交通の利便性を周知し、試乗会やモビリティマネジメントを通して自家用車から公共交通への転換を図る。
(株)ウイング神姫	市原線②	令和6年3月に策定した丹波篠山市地域公共交通計画において、当該路線を事業対象バス路線として位置付けた。関係者と意見交換を行いながらニーズに応じた公共交通の移動確保維持に向けて検討している。	A 主に通勤や通学利用に加えて、生活利用にも寄与することができた。	B ・利用者数 目標17,900人以上に対して実績15,606人となり、達成率87.3%と目標を達成できなかったが、移動確保維持に努めた。通学路線として利用されているため引き続き維持に努める。(※目標値は市原線の合計数) ・公的負担額 目標2,685千円以内に対して実績1,315千円と目標達成	市内の公共交通利用者は依然として少ない。あらためて公共交通の利便性を周知し、試乗会やモビリティマネジメントを通して自家用車から公共交通への転換を図る。
(株)ウイング神姫	福住線	令和6年3月に策定した丹波篠山市地域公共交通計画において、当該路線を事業対象バス路線として位置付けた。関係者と意見交換を行いながらニーズに応じた公共交通の移動確保維持に向けて検討している。	A 主に通勤や通学に加えて、生活利用についても幅広い時間帯において寄与することができた。	B ・利用者数 目標11,000人以上に対して実績10,923人となり、達成率99.3%と目標を達成できなかったが、移動確保維持に努め、利用者数が増加した。 ・公的負担額 目標1,345千円以内に対して実績1,741千円と目標未達	市内の公共交通利用者は依然として少ない。あらためて公共交通の利便性を周知し、試乗会やモビリティマネジメントを通して自家用車から公共交通への転換を図る。
(株)ウイング神姫	柏原線①	令和6年3月に策定した丹波篠山市地域公共交通計画において、当該路線を事業対象バス路線として位置付けた。関係者と意見交換を行いながらニーズに応じた公共交通の移動確保維持に向けて検討している。	A 丹波医療センターへアクセスする貴重な路線であるとともに、生活利用についても寄与することができた。	A ・利用者数 目標8,600人以上に対して実績9,684人となり、目標を達成した。(※目標値は柏原線の合計数) ・公的負担額 目標14,344円以内に対して実績14,355円と目標未達	市内の公共交通利用者は依然として少ない。あらためて公共交通の利便性を周知し、試乗会やモビリティマネジメントを通して自家用車から公共交通への転換を図る。
(株)ウイング神姫	柏原線②	令和6年3月に策定した丹波篠山市地域公共交通計画において、当該路線を事業対象バス路線として位置付けた。関係者と意見交換を行いながらニーズに応じた公共交通の移動確保維持に向けて検討している。	A 丹波医療センターへアクセスする貴重な路線であるとともに、生活利用についても寄与することができた。	A ・利用者数 目標8,600人以上に対して実績9,684人となり、目標を達成した。(※目標値は柏原線の合計数) ・公的負担額 目標14,344円以内に対して実績14,355円と目標未達	市内の公共交通利用者は依然として少ない。あらためて公共交通の利便性を周知し、試乗会やモビリティマネジメントを通して自家用車から公共交通への転換を図る。
(株)ウイング神姫	柏原線③	令和6年3月に策定した丹波篠山市地域公共交通計画において、当該路線を事業対象バス路線として位置付けた。関係者と意見交換を行いながらニーズに応じた公共交通の移動確保維持に向けて検討している。	A 丹波医療センターへアクセスする貴重な路線であるとともに、生活利用についても寄与することができた。	A ・利用者数 目標8,600人以上に対して実績9,684人となり、目標を達成した。(※目標値は柏原線の合計数) ・公的負担額 目標14,344円以内に対して実績14,355円と目標未達	市内の公共交通利用者は依然として少ない。あらためて公共交通の利便性を周知し、試乗会やモビリティマネジメントを通して自家用車から公共交通への転換を図る。